

教えて！米子城

第8回

米子の城下町について その3

歴史大好き
ミナちゃん



生粋の米子っ子
ジローくん

米子の歴史・文化（カルチャー）の
伝道師 かるちゃん

同じ中学校に通う同級生、**戸山ミナちゃん**と**平山ジローくん**。米子の歴史や文化（カルチャー）にくわしい**かるちゃん**といっしょに米子城の魅力や謎に迫ります。今回も、米子の城下町について学びます。

ジローくん：1月の米子城シンポジウムはおもしろかったね。米子城って、城の専門家から見ても魅力満載なんだってことがよ〜くわかったよ。

ミナちゃん：城跡と城下町が一体のものだってということも改めて理解できたわね。自分たちの住んでいる町にこんな宝があるってステキよね。

かるちゃん：そうだね。しかし、それに気付かないことも多いから、自分が学んだことは友達などにも教えてあげるといいよ。「知る」ってことが大事だからね。

ミナちゃん：旧加茂川沿いの特徴がある町並みも、米子城やその城下町が発展してきた歴史などを知った上で見てみると、グッと理解が深まるわね。

かるちゃん：そういうこと。例えば、前回見た絵図にも、外堀に架かる橋が描かれていたよね。中海側から順に**京橋**、**中ノ棚橋**、**天神橋**、**藪根橋**、**横町橋**、**福敵院橋**、**牧野橋**という7つの橋。今も残っている京橋、中ノ棚橋、天神橋あたりの町並みや小路に往時の面影を感じることができるわけだけど、その歴史や背景を知っていると格段におもしろいよ。現存しないものもイメージできるしね。下町観光ガイドなどを活用するのもいいかもしれないね。

ジローくん：なるほど。あ、そういえば**灘町橋**が絵図になかったね。大きな橋なのに。

かるちゃん：灘町橋は、明治43年（1910）に、米子駅前（米子駅前）の道が**行啓記念道路**として米子港まで延長された際に架橋されたものだから、江戸時代の絵図には描かれていないんだよね。米子城外堀に架かる最も古い橋が京橋で、橋の南側（内町側）のたもとには大きな木戸があり、**木戸番**が配置されていた。ここは**制札場**（鳥取藩からの諸連絡を掲示する場所）にもなっていて、**目安箱**も設置してあったんだ。うーん、こういうのも歴史だねー。

ミナちゃん：京橋って、まちなかの小さい橋だと思っていたのに、何だか重要な橋だったのね。そういえば、東京や大阪、松江などにも「京橋」があるわね。

かるちゃん：城下から京都へ登る最初の橋を「京橋」と名付けていたらしいんだ。だから、各地の主要都市にもそれぞれ「京橋」というのがあるんだね。

ジローくん：じゃあ当時、米子の城下町と都を結ぶメインストリートといえば、京橋のあたりだったってことかな。

かるちゃん：そうだね。京橋の北側にある**立（堅）町**は、米子城から見て真北に縦に広がっているところからこの名が付いたんだけど、村川氏、鹿島氏など多くの商家が並び、弓ヶ浜・境港方面へ通じる浜街道が伸びていて、中海沿岸の交易の要でもあったんだ。西側に隣接する**灘町**も浜辺の漁村として、また港町として発展してきた町で、このあたり一帯は、江戸時代より前の時代から米子の中心的な町として繁栄していたんだよ。これら中世からあった古い町を取り込みながら新たな城下町として整備したんだけど、新旧の町の境目が、岩倉町から立町に入るところにある**中ノ棚曲り**というカギ型の曲がり角として残っているね。

ミナちゃん：へえー、あそこが中世と近世の接点なんだ！そういうのも歴史だねー。もっといろいろ知りたくなるわね。

知れば知るほど、もっと知りたくなる米子城のこと。だから「教えて！米子城」。次回もおたのしみに！

（米子市教育委員会 文化課）



旧加茂川沿いの町並み（灘町）



京橋から立町を望む



中ノ棚曲り
（米子城跡ガイドウォーク）